



かみさまは いつもわたしたちを あいしてくださる

かみをあいるものたち（…）には、ばんじがえきとなるように
ともにはたらくということ、わたしたちはしています。（ローマ 8・28）



パウロは、ローマにすんでいるクリスチャンたちに、てがみをかいて、むずかしいことがあっても、いつもかみさまを信じ、あいるようにとはげまします。



そしてパウロは、みはっているひとがいるなか、2ねんかんローマですごします



パウロは、たくさんのひとに「ふくいん」をつたえます。かみさまには、ひとりひとりにすばらしいごけいかくがあります。もしわたしたちが、かみさまを信じるなら、かみさまは、そのごけいかくをなすとげます。



トマスのけいけん
さんねんなことに、おとうさんは、しごとをクビになり、みんなでしんぱいしました。キアラがむずかしいときでも、いつもあいることをおしえてくれたことをおもいだしました。



なので、おてつだいをしたり、おとうさんのために、コーヒーのいれかたをおしえてもらって、おいしいコーヒーをいれました。



なにちかすると、おとうさんはあたらしいしごとを見つけ、みんなでよろこびました。てんのおとうさん、かみさまにかんしゃしました。